令和5年度　新川みどり野高校　年間指導計画（シラバス）

学科	教科	科目（講座名）	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科	芸術	書道Ⅰ	全	2	書Ⅰ（光村図書）	なし
学習の到達目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 （2）書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 （3）主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。					

学期	月	単元	学習内容	到達度目標（学習のねらい）
前期	4月	漢字の書	・書道で学習すること（「臨書」「創作」「鑑賞」について、用具、執筆法等）	・中学校書写と高等学校芸術書道との共通性と相違を理解できる。 ・用具、姿勢、執筆法、基本点画を表現することができる。
	5月		文字の造形を学ぶ（楷書） ・「孔子廟堂碑」「九成宮醴泉銘」「雁塔聖教序」「顔氏家廟碑」「牛橛造像記」「鄭義下碑」「隅寺心経」の臨書 ・中国や日本の様々な楷書作品の鑑賞	・古典を細部まで鑑賞しながら、書風の特徴を捉えて表現することができる。 ・様々な楷書作品を鑑賞しながら、それぞれの書の美について考え、自分の感じたことを述べたり、周囲の意見を取り入れることができる。
	6月		文字の造形を学ぶ（行書） ・「蘭亭序」「争坐位文稿」、「蜀素帖」「風信帖」の臨書 ・中国や日本の様々な行書作品の鑑賞	・古典を細部まで鑑賞しながら、書風の特徴を捉えて表現することができる。 ・様々な行書作品を鑑賞しながら、それぞれの書の美について考え、自分の感じたことを述べたり、周囲の意見を取り入れることができる。
	7月		・楷書や行書の臨書の学習を生かした創作活動	・臨書で学んだ表現方法や、鑑賞で育んだ感性を土台として、自分が表現したいイメージを作品にすることができる。
	9月		・古典（草書）の臨書「真草千字文」 ・中国や日本の様々な草書作品の鑑賞	・古典を細部まで鑑賞しながら、書風の特徴を捉えて表現することができる。 ・自他の臨書作品や、中国・日本の草書、隷書、篆書作品を鑑賞し、それぞれの良さや特徴、美について考え、自分の感じたことを述べたり、周囲の意見を取り入れることができる。
後期	10月		・古典（隷書）の臨書「曹全碑」 ・中国や日本の様々な隷書作品の鑑賞	
	11月		・古典（篆書）の臨書「泰山刻石」 ・中国や日本の様々な篆書作品の鑑賞	
	12月		篆刻（別冊『篆刻・刻字ブック』） ・篆刻の歴史、篆刻の美について ・姓名印の制作	・篆刻で必要な用具や用材を知り、篆刻の歴史や様々な篆刻作品の美しさを味わう。 ・様々な作品例を参考にしながら、また「漢字の書（篆書）」で学んだ表現を生かしながら、姓名印の篆刻作品を仕上げることができる。
	1月	仮名の書	・仮名の書の用具、用材、姿勢、執筆法 ・基本的な筆使い、いろは歌、変体仮名、連綿 ・「蓬莱切」「高野切第三種」の臨書 ・古筆を生かした創作 ・様々な古筆の鑑賞	・仮名の書の用具・用材、姿勢、執筆法等を理解し、身に付けることができる。 ・平仮名、変体仮名、連綿等、基本的な筆使いを習得することができる。 ・臨書を通して、紙面構成、運筆の律動性、筆脈等、仮名の書の美の特質を理解し、表現することができる。 ・臨書を通して学んだ古筆の特徴を生かしながら創作作品を仕上げる。 ・様々な古筆の特徴を知り、表現方法や美しさの違いを味わう。
	2月	漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じりの書について（創作の手順、紙面構成、古典の生かし方） ・様々な漢字仮名交じりの書の作品鑑賞 ・創作～自他作品の鑑賞	・漢字や仮名の古典の美を生かし、字形や文字の大きさ、文字群と余白の関係、配列、書体など、題材に適した表現を工夫することができる。 ・生活に即した書の表現に関心を持ち、その役割を知り、暮らしの中に生きる書について考えることができる。 ・鑑賞を通して、鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、書の良さや美しさについて考えることができる。